

Title	はじめに
Sub Title	
Author	海津, 忠雄(Kaizu, Tadao)
Publisher	三田哲學會
Publication year	1993
Jtitle	哲學 No.94 (1993. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集「審美学百年」記念論文集 美学美術史学の現在
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000094-0161

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

は じ め に

われわれが慶應義塾大学文学部開設百年を祝ったのは平成2年(1990)のことであった。すなわち明治23年(1890)1月、慶應義塾に大学部が新設されたのであるが、その学則で文学科第3学年の履修科目に美学(審美学)がおかれた。したがって最初の学生が3年生になった明治25年にはそれを開講する必要がある、同年9月から森鷗外に出講を願った。鷗外の美学講義は明治32年まで足掛け7年間続いた。これが現在の文学部哲学科美学美術史学専攻の開闢である。

そこで同専攻は平成4年度に「審美学百年」記念事業を企画したが、その一つに記念論文集の刊行があり、三田哲学会はこれを『哲学』第94集に収合することを委員会に諮って議決した。こうして教授陣の論文4篇と大学院博士課程学生の論文2篇から成る記念論文集「美学美術史学の現在」が生まれた。これは学生諸君にも無上の贈り物であるように思われる。

慶應義塾における審美学百年の歴史の中で、澤木四方吉さわきよもきち(1886~1930)は特筆される人である。彼は慶應義塾普通部、大学部文学科に学び、わが国の西洋美術史研究の先駆者になった。その43年の生涯はあまりにも短いとはいえ、教授在職中に今日の美学美術史学専攻の基礎を築いたのである。彼の生涯と業績は巻末に記載された「澤木四方吉年譜」によって詳らかであるが、これはまた彼が混沌たる中にも希望に溢れる文学部草創期に生きた人であることを如実に物語っている。

終わりに、美学美術史学専攻の教育研究の充実と発展を祈りたい。

三田哲学会会長 海 津 忠 雄